

キャッチ通信

第52号 令和5年8月発行

「一度の人生だから、自分らしく思いっきり輝いて生きていきたい」

キャッチつぶやき君

私たちが従事する障害福祉サービスでは、障害者等の「人としての尊厳」に配慮し、その人の人格を尊重して常に障害者等の立場に立ったサービスの提供に努めること。

また本人の自己決定を尊重しつつ意思決定を支援していけるようにと定められています。

障害があることを理由に、一人では生きてはいけない人、自分では判断できない人として支援を行ってはいけないとされています。

本人の意思や意向を感じ取る支援は、支援者側が急ぎ過ぎるのか、なかなか実践できないものです。

「人としての尊厳」この言葉の持つ深い意味が理解できないと支援の質は担保できません。

特に訴える力が弱い人に対する支援は、支援者の自己満足に近い、おしつけの支援になりがちで、結果的に本人の満足度は低くなり、自尊心も傷ついていきます。また自分らしく生きていく力も弱くなっていきます。

人としての尊厳に配慮すること。また本人の意思決定支援(寄り添った支援)に心がけることは、本当に大切なことだと感じます。

2016年7月26日、神奈川県相模原市の知的障害者施設で起こったあの事件。あの日、あの場所で起こった出来事をきっかけに思いもよらない人生を歩み始めた家族がいます。

施設で生活していたころとは違う、自分で選択し、自分で決定する生活。

重度の障害があっても、地域で一人暮らしをしている一矢さんと、温かく見守る家族。

障害があっても地域で生活するのは当たり前のこと。

今、一矢さんがどのような生活をしているのか覗いてみてください。

家族と笑い合う姿にあなたは何を感じますか。

九州ろうきんNPO助成事業「鳥栖・三養基地区 地域研修会」

障害がある方と 地域で共に暮らすひとつの方法

～やまゆり園を出て、ぼくはこのまちで暮らしているよ～



参加費
無料

令和5年 **10月23日(月)**

開場 12:30 開演 13:00 (終了16:00予定)

場所

鳥栖市民文化会館
(小ホール)

〒841-0052 佐賀県鳥栖市宿町 807-17

第1部

講演会「重度障害者の地域生活について」

尾野 剛志 氏 みどり会 (津久井やまゆり園 家族会) 前会長
大坪 寧樹 氏 特定非営利活動法人 自立生活企画

第2部

トークセッション「このまちで障害がある方と暮らすためには」

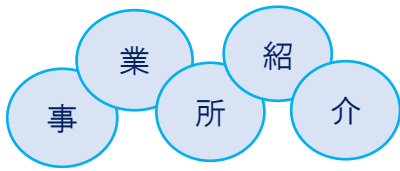
尾野 剛志 氏 みどり会 (津久井やまゆり園 家族会) 前会長
大坪 寧樹 氏 特定非営利活動法人 自立生活企画
藤田 拓志 氏 特定非営利活動法人らいふステージ 生活介護事業所 伴 (Tomo)
芹田 洋志 氏 特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会 すみか

尾野一矢さんも来るよ!



共催：鳥栖市/みやき町/基山町/上峰町/鳥栖・三養基地域自立支援協議会

問合せ先：総合相談支援センターキャッチ TEL:0942(87)8956 FAX:0942(85)9003



ママズルーム



放課後等デイサービス エンカレッジ
 児童発達支援 ビタミン
 保育所等訪問支援 ママズルーム

専門職が揃っています

- 1 運動、身体機能面へのアプローチ ➡ 理学療法士・作業療法士
- 2 社会性スキル(暗黙の了解) ➡ 心理士
- カウンセリング、自己認知力 ➡ 保育士・児童指導員
- 3 親御さんへのサポート ➡ 社会福祉士



生きる力を育みます

療育とは・・・「日々の生活の積み重ね」
 一つ一つ本人が解る形で視覚的に提示し、教
 えて繰り返し訓練しています。すぐに出来なくて
 も、誰にも「いつ」出来るかなんて未来を予想
 することはできません。「明日かも？ 2年後か
 も？ と、どんな時も、
子どもの可能性を信じぬき、共に歩いていくこ
 と!!
 それが、私達「ママズルーム」の理念です。

ママズルームで学べる事(例)

- 月曜➡ソーシャルスキルトレーニング
 (概念の勉強、交通ルール、健康管理、自己認知など)
- 水曜➡生活スキル
 (掃除・料理・整理整頓・清潔保持・金銭管理などについて)
- 木曜・金曜➡運動療法
 巧緻性、体幹・感覚・バランス・ビジョン(トレーニング)など
- 土曜➡グループでの自己認知支援など

自立課題エリア



機能訓練室



スケジュール



クールダウン(静養室)



自閉症という特性を持ちながら歩んできた人生を Instagram にアップしています。療育を行う必要性や、日々の生活の中でのヒントが見つかるかもしれません。ぜひご覧ください。

代表 齊藤 麗子



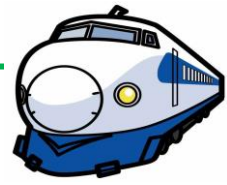
MAMAZROOM2015

ママズルーム
 ホームページ➡➡➡



所在地:鳥栖市布津原町14-1-203
 連絡先:070-1506-1872
 0942-85-9241





～わたしの伝えたいこと～

1999年8月生まれの息子。現在、23歳あつ！この記事が発行される時は、24歳かも！
156cmの意外とコンパクトな体型。先天性アペール症候群による、なかなかの重度のしょうがいがあり、身体障害者手帳2級、療育手帳Aの息子。幼児期～学生時代は、急転直下、疲労困憊、四字熟語を全て書きたい程の子育ての連続だった。

現在彼は、就労継続支援B型に通勤している。1人で、電車で。

彼は、幼い頃から電車大好き、新幹線大好き。プラレールが大好き。誕生日もクリスマスプレゼントも絶対プラレール。何故か、新幹線がお好みで～。年2～3回買っていくとほとんどのコレクションがコンプリート。私が、在来線、「江ノ電可愛いーやん」と勧めても反応なし。それなら、表紙が新幹線の時刻表をと進めると、パリパリとした紙質が気に入り、めくって音を楽しむおもちゃに変わった。小学校高学年の頃になれば、バスの行先、電車の駅名から文字も読めるようになってきて、時刻表の駅名を聞いてくることも。彼の文字読みは、駅名、バス停、家族の名前から始まった。「あいうえお」から書いて、だんだんと難しい漢字をテストと授業で覚えるのが、きっとほとんどなんだと思う。でも、書くのも不自由な彼は苦手が増えるだけで、やらされ感満載。しかし大好きな事で学ぶと、興味が違うので、簡単とか難しいなどの当たり前とされる概念を飛び越える。私も母に、「歌ぐらい、教科書覚えたら100点やろーね」と何度も言われてきたのを思い出して、あら、そっくり！とか思ってしまう。

彼の休日は、佐賀、久留米、博多、天神と自由自在の旅。

JR長崎本線ー西鉄バスー西鉄電車ー地下鉄と思うがまま。

問題は、お金の計算だった。特に引き算は苦手。小銭を財布から出すのも一苦勞。しかし、令和のキャッシュレス化で「ピッ！」で終了。

支援学校中等部2年で「w a o n」が出てきた時、息子はこれだ！と小躍りした私。

当時の先生に、計算の勉強をしなくて大丈夫、今後は一人で買い物できますっ！と個人懇談で熱弁した。先生はポカーン、、空気が悪くなったのは言うまでもない。

物の値段をみて、足りるか足りないかは分かる。しかも足りなければ、クイズのように、音で教えてくれる。テクノロジーの進化で我が息子は一人の余暇を満喫し、帰って来る。

5年前に立てた、ライフプランとはかなり事情が変わった。

社会が変わってきたのだが、対応出来る彼は、成長したように、社会に馴染む。

携帯電話のアプリで、居場所がわかる。仕事先、自宅に着けば、私に通知がくる。LINEで「ただいま」とメッセージがくればお帰りのスタンプを送る、今日は可愛いのにしてみようかな？とか、彼が、重度の知的しょうがいがあるということは、忘れてしまうほど、普通の会話と日常。これからも、きっと未来は楽しい、楽しんだもん勝ち



○鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住いの、障害者本人、障害のある方を支えている家族及び支援者からの相談をお受けします。障害の種別、手帳の有無は問いません。相談は無料です。

<相談窓口開設時間>9:00～18:00(月曜日～金曜日) 9:00～17:00(土曜日)

開設時間以外でもご相談をお受け致します。事前にご連絡ください。

特定非営利活動法人 総合相談支援センターキャッチ

電話：0942-87-8956 FAX：0942-85-9003

Mail：so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp

URL：<https://tosumiyaki-sodan.or.jp/>



～編集後記～

今年の夏も暑いです
ね。私もプールに入
りたい！水着は…無
理ですねえ… 龍頭